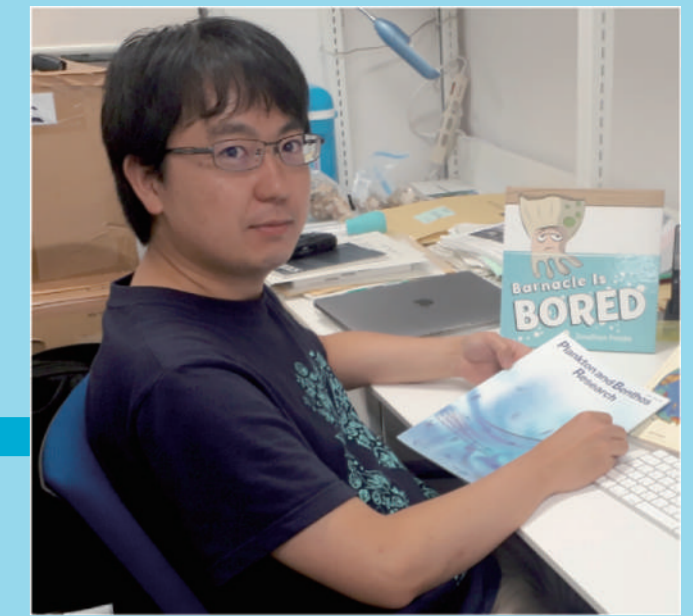


フジツボの幼生は天敵の匂いを嫌がる？



自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

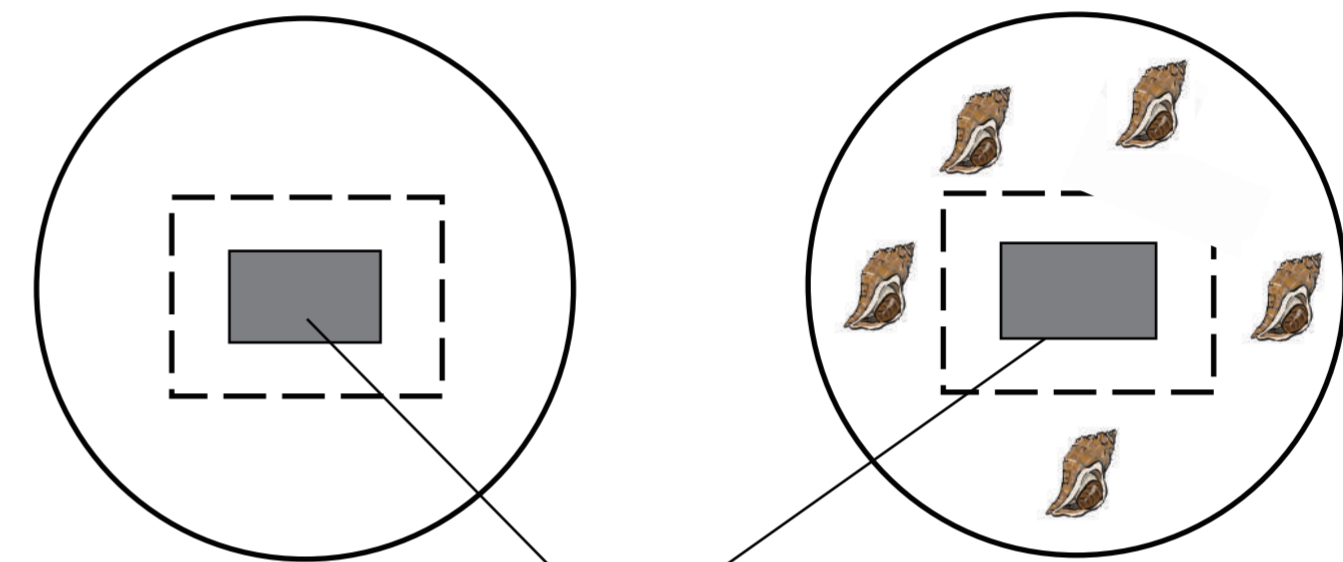
頼末 武史



キタイワフジツボ（左）とその捕食者巻貝（エゾチヂミボラ, 右）

フジツボは岸壁などに固着して生活していますが、幼生の時期にはプランクトンとして海中を泳いだり漂っています。幼生は一度固着するともう動けなくなるため、慎重に生息場所を選んでいきます。

この実験では、近くにフジツボの天敵である巻貝がいる環境といない環境を作り、固着（加入）したフジツボの幼生の数を比較しました。その結果、近くに天敵の巻貝がいるとフジツボの幼生があまり加入しないことがわかりました。メカニズムは未解明ですが、フジツボの幼生が天敵の匂いを避けているのかもしれませんが。



フジツボの幼生を加入させる板



野外実験の様子

実験装置を岸壁に取り付けておくと、板に幼生が加入してくる

